

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.9トンの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の22%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり85kgの水揚げで、前週の11%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり35kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり300kgの水揚げで、前週の23%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり8kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり9kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり238kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/10～10/15の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）5日延53隻、総計4,570箱、1航海最高195箱、平均86.2箱。スルメイカ（20～30入）4,480箱、ケンサキイカ（2～3立）90箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>